

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

容器の効率的な利用のお願い

最近、250Lの液体ヘリウム容器を利用する研究室が増え、さらに1研究室の持出本数も増えている為、供給できないことがあります（容器の購入を検討中）。

250L容器に限らず、容器には限りがありますので、「ヘリウム容器の利用について」に注意し、効率よく使っていただくようお願いいたします。

特に、新領域創成科学研究科用の容器は、利用量に対して容器が少ないので速やかな返却をお願いします。

[ヘリウム容器の利用について]

- ・返却時には、内容積の10%程度の液体ヘリウムを残すこと
- ・使用しない容器は速やかに返却すること
- ・使用は最低限の期間とし、長期に保有しないこと
※長期に保有する必要がある場合には、研究室で容器を購入し専用利用とすること
- ・多くの容器を保有しないこと
※容器に余裕のある場合には良いが、原則として共通容器で2本程度とすること



年末年始の寒剤供給について

12月および年末年始に、液体窒素汲出場(本館)の改修工事や液体ヘリウムの貯槽入替工事、液化機更新に関わる工事を行います。利用者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

[液体窒素の供給]

- (1) 本館の汲出場は、排水工事及びロードセル修理の為、**12月13日(月)9:00~12月21日(火)9:00まで利用できません**。低温棟脇の汲出場をご利用ください。
- (2) 年末年始については、通常通り利用可能です。

[液体ヘリウムの供給]

- (1) 貯槽入替工事に伴う**供給停止 12月23日(木)~1月4日(火)**
 - ・ヘリウムガスの回収はできますので、大気放出しないでください。
 - ・容器の返却は出来ませんが、必ず内容積の10%以上の液体ヘリウムを残してください。
 - ・**供給停止期間中の液体ヘリウムの利用は最低限にしてください。**
- (2) 12月22日(水)の注意事項
 - ・容器の持出・返却は、14時までに行ってください。
 - ・容器や6,000L貯槽の残量により、供給制限を行います。
- (3) **供給再開は1月5日(水)**を予定
 - ・10,000L貯槽の冷却・貯液の状況、容器の返却状況などにより変更となる場合がありますので、ご了承ください。